

2015年12月16日 第41期 No. 9-473

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

皆さまお元気ですか？今年も残り僅かになりました。明るい新年を迎えるためにも、インフルエンザやノロウイルスに特に気をつけなければいけない季節です。

1 月 定 例 会

1月5日(火) 11:00~16:00

我孫子南近隣センター 8F 調理室

例年のことながら、新年会を兼ねて

会費 500円

是非多くの方のご出席を願っています。

おおよその方の人数を把握したいので、和田へお電話ください。

2 月 定 例 会

2月1日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター 8F 調理室

定例勉強会 県民提案事業の報告

バス見学会の予定

まだ先のことですが、バス見学会の予定をお知らせします。

2016年3月17日(木)

原爆の図丸木美術館(埼玉県東松山市)

戦後70年で初めてアメリカでの展示会が実現し、アメリカ人の原爆に対する認識をかなり変えたと言われています。12月に無事帰国してきました。詳しいことは後日にしますが、15分の説明もあります。手帳に入れておいてください。

農地の上につくる太陽光発電の完成を待って見学するつもりでしたが、事情があって、着工が遅れているそうです。来年度に見学出来れば。



高齢社会への対応を探る会

☆ 医療・介護新時代の”終の住処”を考える

2月3日(水) 13:30~16:00

アビスタ・ホール

・基調講演「”終の住処”見直しのポイント

浅川澄一氏 福祉ジャーナリスト、元日本経済新聞編集委員

・グループでの話し合い 他

☆ 映画会「ペコロスの母に会いに行く」

原作 岡野雄一

3月6日(日) ①10:00~ ②13:30~

アビスタ・ホール

後期事業として2つが決まりました。是非お誘いあわせご参加ください。

27年度消費生活の安定及び向上に向けた

県民提案事業

☆認知症でも安心して暮らせる地域を
学校から作ろう 進捗状況

我孫子市消費者の会

①11月9日 第四小学校6年生4クラスの中の希望者47名。「職業人に聞く」という授業で、栗原さんを中心に行い、認知症について理解を深めてもらいました。

②12月4日 布佐中学校3年生3クラス80名。道徳の時間で、「認知症って何？」をテーマに作ったパワーポイントとワークシートを使って授業をしました。即日布佐中学校のホームページにも報告を載せてくださいました。少なくとも3年間は続けて欲しいと言われました。



小学校も中学校も、会員の手作りの「見守りふくろうさん」のマスコットを配布して、とても喜ばれました。

③今、中央学院大学での講義を前市長、現教授の福嶋浩彦氏に時間をいただいて実施すべく、協議中です。1月14日の日程だけ決まりました。

☆食品表示の変更と消費者被害防止

千葉県消費者団体連絡協議会

アンケートをとりながら、表示の変更と、機能性表示食品の本質を理解いただく事業です。

ふれあいサロンのボランティアの方々をお願いして、我孫子で予定数を超えて協力していただきました。今、集計中です。

会員の活動紹介

我孫子市消費者の会の会員は様々な会に所属、あるいは立ち上げて責任ある立場の方が多くいらっしやいます。時々その会を紹介して、情報を広げたり、そこにも入会して活動をして下さると、ご自分の老化予防にもなると思います。今回は、栗原洋子さんがご主人と立ち上げられた「社会福祉法人エスポワールわが家」と、福田禎子（よしこ）さんが立ち上げられた「ふれあいサロン」を紹介します。

「社会福祉法人エスポワールわが家」

我孫子市の社会教育ゼミナール（今、会員の伊勢利江さんの発案）で、「おいへの対応を探る」という学習会があり、それぞれが老いの「住」や「食」「衣」等の関心のある問題でグループを作り、調査、研究を始めました。

その10周年の記念の会にお招きしたデンマーク、コペンハーゲン大学の伊東敬文氏のお話に感激した人たちに、希望者も募って、デンマークへ勉強に行きました。そこで見た高齢者福祉は目からウロコが落ちるものでした。特に認知症の方のグループホームを見て「我孫子にも欲しいね」と。

「じゃあ作ろうか」と猛勉強を始めて栗原さんが作ったのが「あらきのお家」のデイサービスでした。その後市の勧めもあって社会福祉法

人格を取り、本格的にグループホームを作りました。今では認知症専門のデイサービスと3つのグループホームを運営しています。場所は新木小学校の横と、南新木です。グループホームと言うのは認知症の方が9人で、スタッフの力を借りながら、日常生活で出来ることをしながら暮らすものです。認知症は一人ひとり症状が違いますが、スタッフが優しく接することで、概ね穏やかな暮らしが出来ます。

我孫子には今13ヶ所のグループホームがあります。エスポワールには今年3つ目のグループホームが出来ましたが、まだ、若干空きがあります。12月11日付けの「ちいき新聞」に入居者募集の広告が載りました。ご覧ください。サービス付き高齢者住宅より安い費用です。見学も出来ますので、7126-0202へ、

「ふれあいサロン」

立ち上げられた福田禎子さんが「おいへの対応を探る」の勉強の中で必要と考え、自宅を開放して天子山ふれあいサロンを作られたのが始まりです。その後、デンマークでの勉強で拡大する必要性を感じ、市のきらめき事業の認定を受けて次々に開きました。多くの市民のボランティアの協力を得て、今、手賀沼（アビスタ）、天子山、並木小、天王台南（こもれば）、湖北台、湖北地区、新木の7ヶ所になりました。

月1～2回で、通ってこられる高齢者とボランティアで和やかなひとときを過ごしています。利用料は原則1回100円。お茶とお菓子が提供されます。

年に1回は日帰りバス旅行、折り紙を習ったり、悪質商法の被害防止の勉強をしたり。家に閉じこもりがちな高齢者の交流の場として喜ばれています。問合せ 7182-2772へ。

認知症サポーター養成講座

厚生労働省の講座を栗原洋子さんが開きます。平成28年1月22日（金）13:30～新あらきのお家 研修センター. オレンジリングとテキスト贈呈. 申込 090-2674-0359へ。チラシをご覧ください。